



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G2529号)

令和7年8月27日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

ハタハタ・アカガレイ等に関する情報について (令和7年度底びき漁期前調査結果)

令和7年8月4～5日に但馬沖水深180～350m(図1、表1)で漁業調査船「たじま」によりトロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。(今回、隠岐島周辺での調査は実施できておりません。)

1. ハタハタ

- ・但馬沖では水深240mおよび210mで、20kg/網以上の入網がありました。(表1、図2)
- ・但馬沖の水深240m以浅平均入網重量は13.1kg/網で、過去5年間で上回りましたが、過去10年平均(20.9kg/網)は下回りました。近年、但馬沖の入網重量の推移は調査海域全体と似通っています。(図3)。
- ・但馬沖の漁獲物は体長16～18cmが主体で全体にやや大型でした。年齢組成は2歳魚(16cm前後、2023年級)主体に3歳魚(18cm前後)が続き、今期も1歳魚(13cm前後)は多くありませんでした。(図4)。
- ・鳥取水試が隠岐島周辺から青谷沖にかけて行った調査では、入網量は前年を上回ったものの全体に低調であり、年齢組成は但馬沖と似通っていたとの情報を得ています。

【秋漁の見通し】

- ・9～10月漁獲量は、極端な不漁であった前年を上回る可能性があるものの、低調に推移するでしょう。
- ・漁獲物は中型(2歳)魚主体で、大型(3歳)魚、小型(1歳)魚がこれに続くでしょう。
- ・今期も1歳魚の加入は少なく、急激な資源の回復には至らないでしょう。

2. アカガレイ

- ・但馬沖では水深240～300mの3つの操業点で20kg/網以上の入網がありました。(表1、図6)
- ・但馬沖の平均入網重量は11.2kg/網で、前年(13.7kg/網)および過去10年平均(19.5kg/網)を下回りました。(図7)
- ・雌の大型魚が分布する水深300m操業点での平均入網重量は16.8kg/網で、前年(31.6kg/網)を下回りました。(図8)

【秋漁の見通し】

- ・但馬沖では、水深300mを中心に漁場が形成される見込みですが、水深300m以深における漁期当初の現存量は前年を下回るとみられ、9月の漁獲量も前年を下回る可能性が高いでしょう。

3. その他の情報

- ・大型クラゲは但馬沖では入網せず、大量出現の予兆はありませんが、鳥取水試が中江(隠岐北西)で3～5個体/網の入網を報告しています。局所的な入網に注意しつつ、情報収集に努めてください。
- ・ズワイガニ入網海域では、操業を控えたり、混獲回避漁具等を活用してズワイガニを守りましょう。
- ・今期もホッコクアカエビに漁獲努力が集中する可能性があります。稚エビが多く入網するエリアは避けるなど、貴重な資源を少しでも長く利用できるよう努めましょう。

調査船「たじま」による隠岐島周辺の情報提供がかなわず、関係各位にご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷・田村・岸本)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684 email：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ： <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>



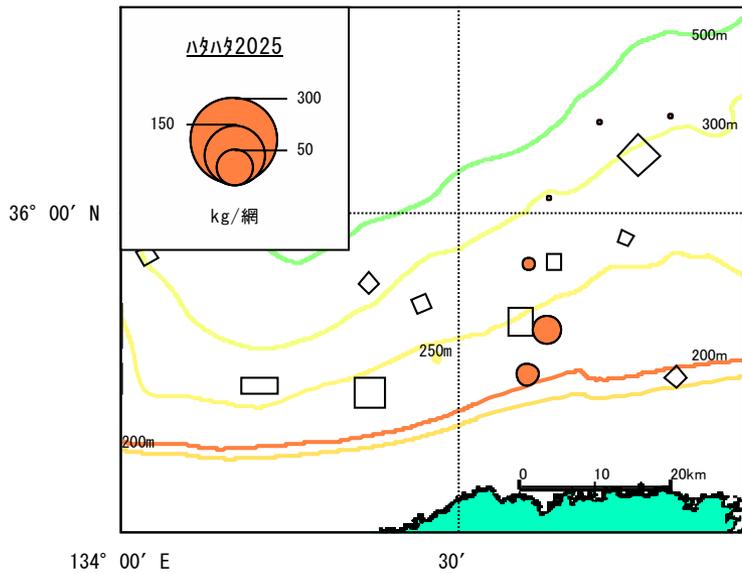


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

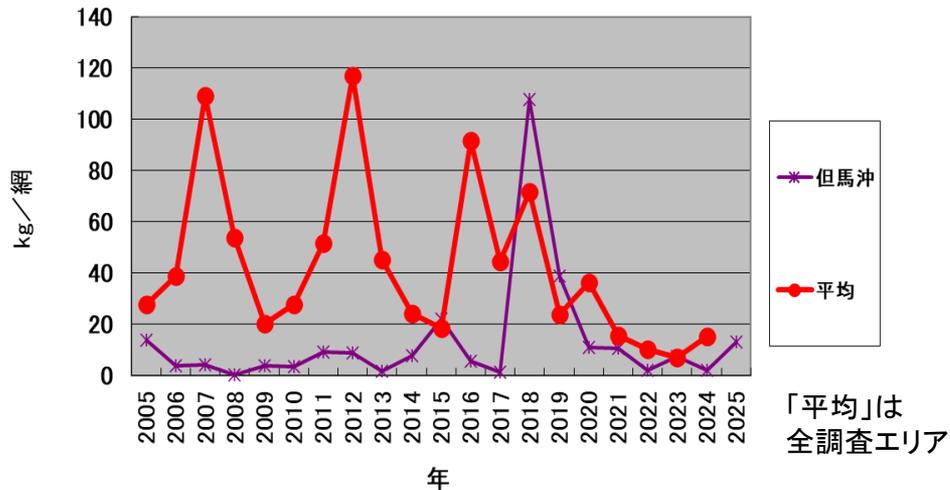


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (180-240m定点、袖先間隔で補正)

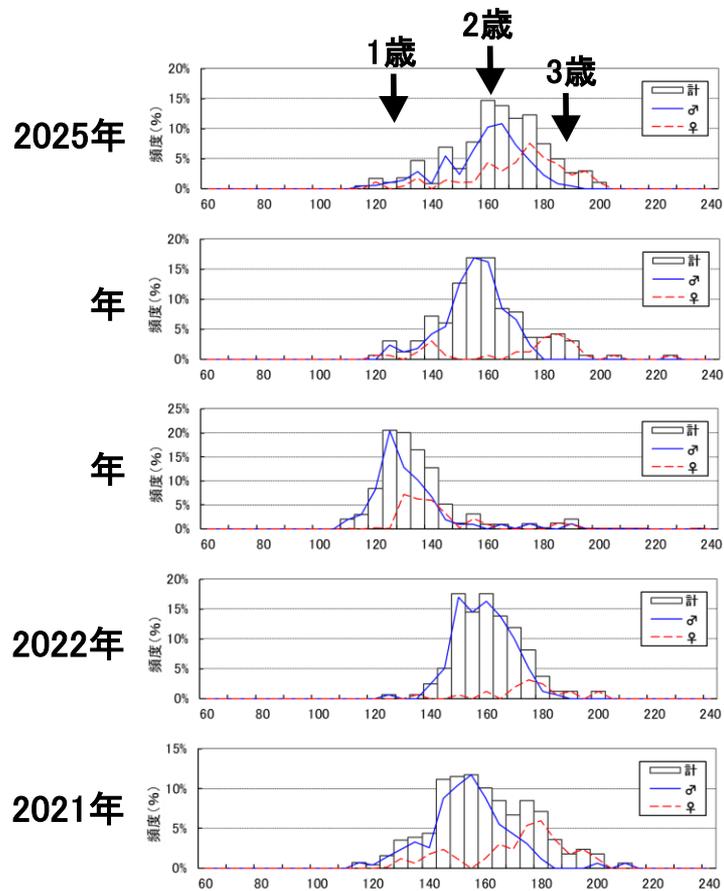


図4 近年のハタハタ体長組成 (但馬沖、水深240m以浅)

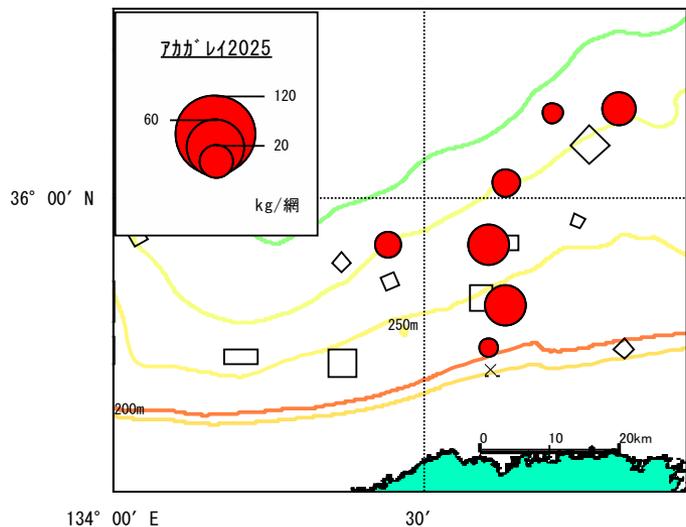


図6 アカガレイ入網重量の分布(kg/網)

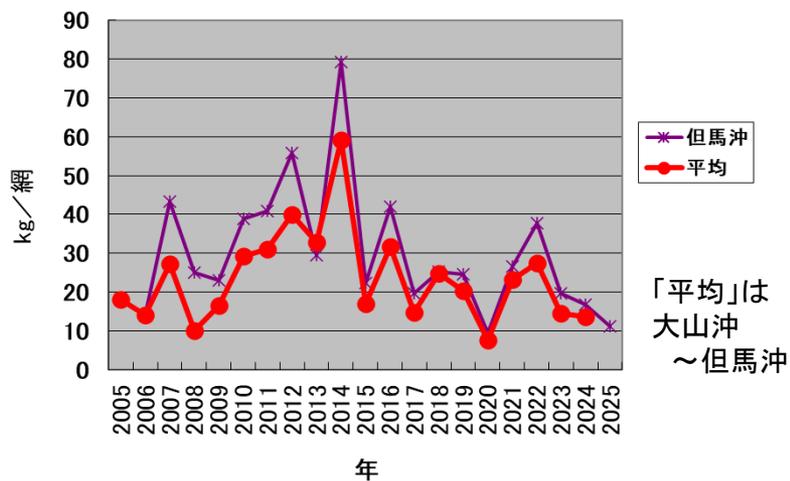


図7 1隻網当たりアカガレイ入網重量

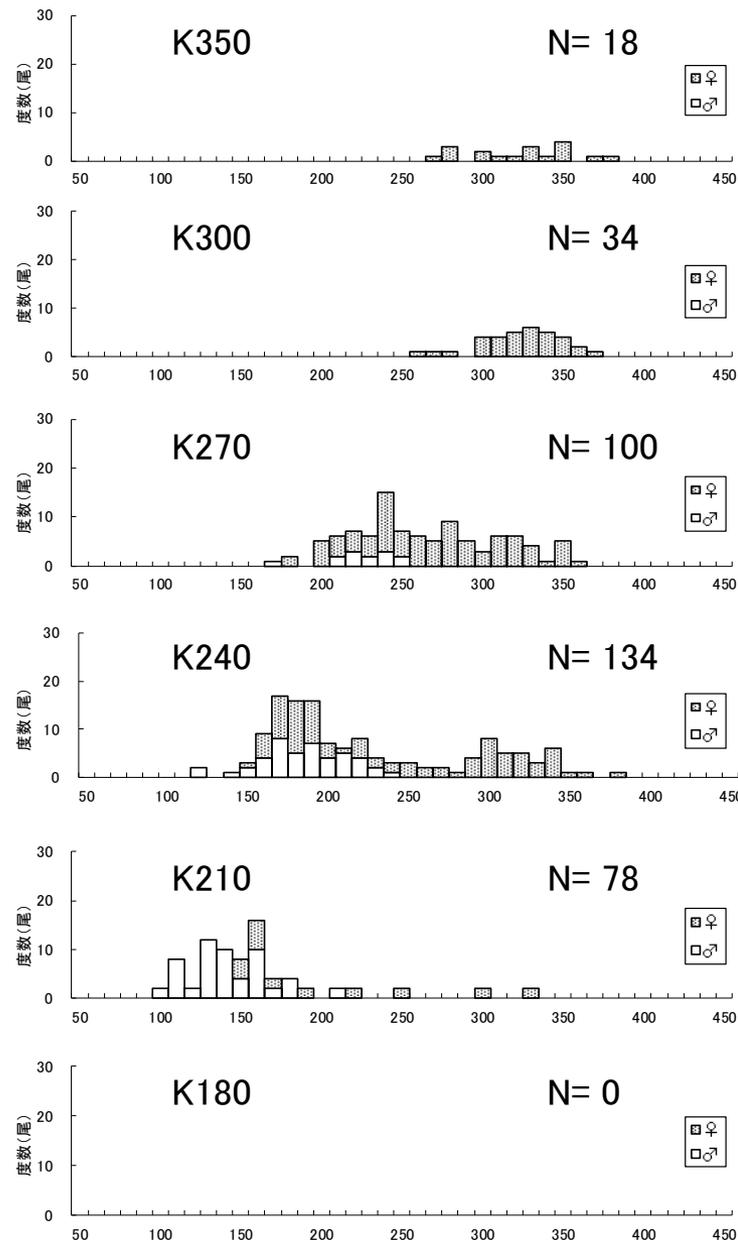


図8 定点別アカガレイ体長組成(香住沖)